

第49回藤枝J C杯争奪少年少女サッカー大会

新型コロナウイルス感染対策

※、本大会はJFA通知「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」に沿って試合を実施する。

・参加チームは「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」に沿った感染対策を認知し、その対策を実行する旨の「大会参加同意書」(書式1)と「健康管理チェックシート」(書式3)を、大会本部に提出する。

・大会に関わる全ての人(大会役員、指導者、選手、保護者を含む全てのチーム関係者、その他大会関係者)に二週間前より健康チェックシート(個人)を記入してもらい健康状態チェックを行う。大会当日チーム責任者は、健康チェックシート(個人)の提出を求められた時、即時提出ができるように準備をしておく。

・大会に参加する全選手は、大会参加同意書兼健康チェックシート(書式2)を用いて、事前に自チームの責任者に提出する。大会当日チーム責任者は、大会参加同意書兼健康チェックシート(書式2)の提出を求められた時、即時提出ができるように準備をしておく。

・本大会へ参加するチームは、観戦者リストを運営本部に提出すること。

・本大会に参加するチームの選手並びにその家族が、大会前10日以内にコロナウイルスに感染したり、又は大会前5日以内に濃厚接触者と認定された場合は、その選手の本大会への参加は出来ないものとする。その場合、本大会の感染対策責任者；加塩まで速やかに各チームの代表より報告すること。

・本大会に参加するチームの選手並びにその家族が、大会前10日以内にコロナウイルスに感染したり、又は大会前5日以内に濃厚接触者と認定されたものが2人以上確認された場合は、その旨を本大会の感染対策責任者；加塩まで速やかに各チームの代表より報告すること。その場合、対戦相手に確認した上で、そのチームに対し本大会への参加自粛の要請を致す場合があります。

・大会期間中チーム内(スタッフ/選手/保護者)にコロナウイルス陽性者が出た場合、以後の大会参加は辞退していただきます。また、以後陽性者は医療機関や保健所の指示に従って下さい。

・競技中のコロナウイルスに感染の疑いがある場合は、本部にて応急手当をするが、その後の処置はチームの責任で対応する。(隔離/医療機関の受診等)

・本大会への参加を自粛するチームが出た場合そのチームは、予選においては0-6の不戦敗、順位決定戦においては不戦敗とする。

- ・帰宅後 10 日以内にチームの中から感染者が出た場合は、その旨本大会の感染対策責任者；加塩まで速やかに各チームの代表より報告すること。
- ・大会に参加する全てのチームは、「非接触式体温計」、「アルコール消毒液／ペーパータオル等の拭くもの」、等をガイドラインに基づき各自にて用意し、常に感染対策を実施すること。
- ・大会に関わる全ての人（大会役員、指導者、選手、保護者を含む全てのチーム関係者、その他大会関係者）は、常にマスクを着用すること。（但し、試合中及びアップダウントレーニング中の、選手／主審判員は除く）
- ・大会に参加する全てのチームは、チーム待機場所がお互い密にならないように適切な間隔を空け、会場内の配置に配慮をする。
- ・試合用のベンチは各チーム持ちよりとし、ベンチ内では隣の人との間隔を一人分あけること。なお、ベンチ内の全ての人にはマスクを着用すること。（ハーフタイム中も同様のこと）
- ・審判員は試合前のメンバー及び用具チェックにおいては、ベンチ側のタッチラインのところで、選手同士適切な間隔をあけおこなう。コイントスもキャプテン同士の距離を 2 m 以上確保する。
- ・試合前後のセレモニー（あいさつ）は行わず、円陣も行わないこと。
- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。
- ・ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。
- ・補助審判員は、選手交代時交代ゾーンに複数名が入らないよう、各チームと調整する。
- ・試合を観戦する人は、密にならないよう各々適切な距離を保つこと。また、大声での声援を送らないことや、会話を控えること。また、観戦者リストを提出するとともに、観戦者証を首にかけ観戦すること。また、観戦者証をしていない者は、会場より退場してもらいます。
- ・観戦者は選手一名につき二名までとし、それ以外の者は観戦できないものとする。
- ・会場運営者は参加各チームに、応援者観戦場所を指示し遵守してもらおう。また、応援観戦者と大会参加者名簿の人数が合っているか確認し、いずれかに違反がある場合は対象チームを指導する。

以上